

遅刻防止のためのスケジュール管理システムの提案

野口ひかる[†] 植竹朋文[‡]
 専修大学[†] 経営学部[‡]

【研究動機】

誰も一度は経験した事がある遅刻。そこで、寝坊をしてしまっても、遅刻をしないようにスケジュール管理を支援するシステムがあればいいと考えたのが本研究の動機である。

【研究対象・目的】

本研究ではスケジュール通りにいかず、だらけてしまう人、遅刻を減らしたい人を対象に、朝の忙しい時間の中、計画通りにスケジュール管理を行うことを支援するシステムを構築することを目的とする。

【現状分析】

ここではまず遅刻の原因についての調査を行った。2011年、COBS ONLINE 会員 1000 人を対象として行われたアンケートによれば遅刻の理由は、準備に時間がかかると答えた人が 87%と最も多かった(図1参照)。

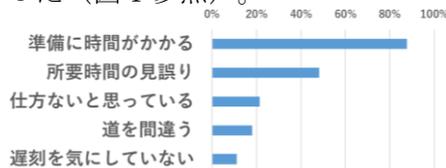


図1：遅刻の理由

次に朝の準備の何に時間がかかるのかを明らかにするために、1週間分の朝のスケジュール(20代、女性)の調査を行った。更に、起床時間にきちんと起きることができたのか、出発時間に家を出ることができたのかという点にも注目した。

分析の結果、以下の2点が明らかになった。

- ・正しくスケジュールを見積もれていない
- ・スケジュールがずれた場合に対応できてない

次に正しくスケジュールが見積れるかという点と再スケジュールが容易かという点に注目して、代表的な以下の2つのアプリを調査した。

- ▽お出かけアラーム「あさとけい」
- ▽Any.do: To-do リスト&カレンダー

表1：既存システムの分析一覧

	スケジュールの見積もり	再スケジュール
あさとけい	×	×
Any.do	×	△

分析の結果(表1)、既存のシステムでは上記の問題点の解消には、十分に対応できていないことが明らかになった。

現状分析のまとめ

- ◎やるべき活動の計画とその把握が不十分
 - ・やるべき事項に優先順位がある
 - ・かかる時間にばらつきがある
- ◎予定通りに進まなかった時の対応
 - ・進捗状況の把握が難しい
 - ・再スケジュールすることは困難
- ◎既存システムは上記の問題の解消には対応していない

【システム提案】

前日のうちに翌日の作業時間に合わせ起床予定時刻を算出。起床時刻に合わせ、予定していたスケジュールとリアルタイムの差をプログレスバーやスマートスピーカーを使って可視化させ、朝のスケジュール管理を支援するシステムを提案する。
 システムの概要を以下に示す(図2)。

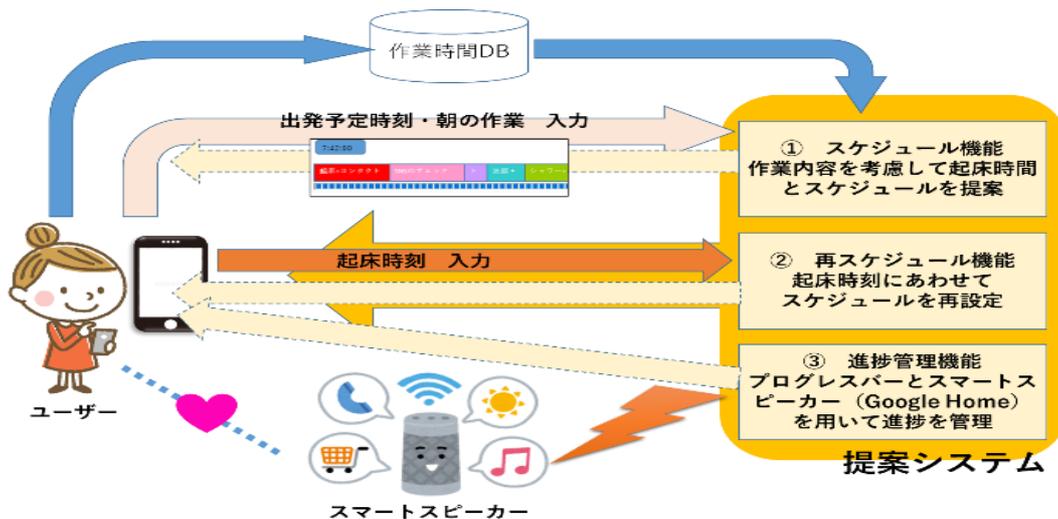


図2：システムの概要

作業時間 DB：各活動時間の種類とかかる時間をレベル別（ゆっくり、標準、急いで、鬼）に登録してあるデータベースのことである。基本は標準時間で朝の作業時間を表示。事前に手動で、各作業のレベルを変更することが可能である。

提案システムには主に3つの機能がある。

① スケジュール機能

翌日実施する作業をもとに作業時間 DB を利用して、起床時間と実施スケジュールを策定する機能

② 再スケジュール機能

予定通り進まなかった場合は、出発までの残時間に応じて作業の優先順位に従い作業レベルを変更し、再スケジュールする機能

③ 進捗管理機能

進捗状況の理解をプログレスバーとスマートスピーカーを利用して支援する機能。

【効果検証】

本システムの有効性を検証するため、試作システムを構築し、20代～50代の男女22人を対象に、実際にシステムを利用してもらい、評価実験（5段階評価）を行った。

表2：提案システムの有効性

スケジュールの確認	4.6
再スケジュール機能	4.6
進捗管理機能の連動性	4.5
システムの有効性	4.6

効果検証の結果（表2）、提案システムの有効性が確認された。しかし、スケジュールの表示方法には改善の余地があることも明らかになった。

【結論】

提案システムを利用することで、朝の忙しい時間の中でも計画通りにスケジュール管理を行うことができ、遅刻防止に繋がると考えられる。

【今後の課題】

- ・ 利用者の状況に応じた表示方法の検討
- ・ スマートスピーカーの有効利用の検討

【参考文献】

[1] 朝のうっかり遅刻解消目覚まし！「あさとけい」 <http://asatokei.com/>
 [2] Any. do, <https://www.any.do/>
 [3] なるほど、だから遅刻するのね！みんなの「遅刻の理由」ランキング <https://cancam.jp/archives/277242>
 [4] 寝坊？電車が遅れた？遅刻魔の本当の理由とは https://woman.excite.co.jp/article/lifestyle/rid_Cobs_ly_201108_post_1132/
 [5] 窪田 瞳，遅刻防止のためのスケジュール作成・実行支援システムの提案，専修大学経営学部 卒業論文，2014